



2025年5月8日

各 位

会社名 株式会社システムインテグレータ
代表者名 代表取締役社長 引屋敷 智
(コード番号：3826 東証スタンダード)
問合せ先 経営サポート本部 経営企画部長 岩井 智史
(TEL. 048-600-3880)

新規サービス 検図AI「KENZ」の開始に関するお知らせ

当社は、「時間を与えるソフトウェアを創り続ける」というミッションのもと、AI技術を活用した業務課題の解決に取り組んでいます。2025年4月には製造業向けAIエージェント事業の立ち上げ、現場の複雑な判断業務や情報検索の効率化など、日々の業務に寄り添うAI活用を推進しています。

今回、その一環として検図AI『KENZ』を新規に開始しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社は、AIを活用したサービスが単なる省力化にとどまらず、人が本来取り組むべき創造的な業務へ時間を振り向けられる環境づくりに発展することを目指しています。今後も業種や業務領域を問わず、AIを通じた業務変革を支援し、日本の産業全体の生産性向上に貢献してまいります。

記

1. 事業立ち上げの背景

当社は1995年の創業以来、ERP（統合型基幹業務システム）を中心とした基幹業務の効率化を支援することで、多くの製造業のお客様に貢献してまいりました。

製造業の現場では、人手不足が深刻化する一方、多品種少量生産への対応や顧客ニーズの高度化・多様化に迅速に応えることが求められています。そのため、限られた人的リソースの中で新規図面や図面変更が増加しており、現場の負担は年々大きくなっています。

当社が実施した、検図業務に従事する方々を対象とした調査では、42%の方が「検図の負荷が高い・時間がかかる」といった課題を感じていることが明らかになりました。こうした現場の声を受け、私たちは検図AI「KENZ」の開発に着手しました。

2. 検図AI「KENZ」の特徴

検図AI「KENZ」は、図面に不備がないかを確認する検図業務をAIがサポートする新しいサービスです。

多くの現場での検図業務では、図面を作成した設計者によるセルフチェック、上司によるダブ

ルチェック、そして承認者による最終チェックと膨大な時間とコストがかかっています。この検図業務の手法はこれまでほとんどアップデートされておらず、人間が隅から隅まで目で見てチェックを行っています。

「KENZ」のAIによる検図支援機能は、設計者を単純なチェック作業から解放し、設計リードタイムの短縮と本質的な検図への集中を可能にすることで、品質向上と製造工程におけるロスの削減に貢献します。

■ 特徴1：オンプレミス環境で提供可能

「KENZ」は、お客様のネットワーク内で動作させることができます。

ChatGPTのようなインターネット上のサービスと異なり、機密情報である図面を外部のインターネット環境にアップロードすることなく利用することができるため、現状のセキュリティ基準から変更することなくすばやく運用を開始することが可能です。

■ 特徴2：お客様別の検図業務に対応可能

「KENZ」は、お客様個別の要件に柔軟に対応することができます。

お客様によって、検図のポイントは大きく異なります。どの企業でも行うだろう基本的な検図の機能を基本機能としてご提供するだけでなく、ヒアリングのうえ、大幅な効率化が見込まれる要件については個別に対応し、お客様の検図業務効率化を最大限サポートします。

■ 特徴3：直感的でわかりやすい画面

「KENZ」は、専門的なAIの知識を持たない設計従事者の方でも直観的に利用することができます。

2ステップ（1. 図面と関連する書類をアップロード、2. チェックしたい観点を指示）の簡単な操作でAIによる検図結果を確認できるため、操作トレーニングはほぼ不要で、現状の検図業務にすばやく組み込むことが可能です。

（AIで実現可能な検図内容の例）

KENZは図面関連ドキュメントのテキスト内容と図面に記載される形状やテキストを用いて、お客様個別のさまざまな検図業務に対応することができます。

例えば、以下のような検図に対応することができます。

- ・ 部品表と組図内の部品構成の整合性チェック
- ・ 組図内の部品構成がもれなく図面に表記されているかの確認
- ・ 図面内の表記と端子ユニット表の整合性チェック
- ・ 図面内の端子配置と端子一覧表の表記の整合性チェック
- ・ 複数ドキュメント間の部品名、図面番号、型番の整合性チェック
- ・ 複数図面間の表記の整合性チェック
- ・ 特定の形状の検出（要注意箇所の抽出）
- ・ 寸法の抜け確認
- ・ 公差の確認

3. 今後の見通し

現時点において検図AI「KENZ」が2026年2月期の業績に与える影響はありません。

以上